

仙人通信 158 杓子山(1597 m)・鹿留山(1631 m)

杓子山・鹿留山は、山梨県忍野の東側に位置し、道志山塊の最西端の山である。嘗ての鎌倉往還にある鳥居地峠の近くに車を置き、大文字焼きで有名な高座山から杓子山・鹿留山そして立ノ塚峠から内野へ下山し、忍野の山沿いの道を車まで戻るコースとした。鳥居地峠より林道を右折し、500 m程にある登山口からのスタートである。赤松林の登山道は、芽吹いたばかりの檜等で明るいコースだ。足元では、マムシグサや黄色いキジムシロ・紫のオオタチツボスミレ・ヒトリシズカも可愛い。10分程進むと、刈り取られ・火で焼いた薄の大きな斜面だ。登山コースは、ブルトウザーで草が剥ぎ取られた尾根沿いの平な登りである。昨日の雨で滑るも近くでは、蟻が巣穴から土を運び出したり、蛇が甲羅干しをして居たりと長閑である。尾根の左の草原では、紫の小さなハルリンドウも加わり嬉しい。15分程で山肌に大きな大文字焼の文字だ。コースは再び林の中となり、紫のミツバツツジも綺麗だ。右手には白い富士山であるが、山頂に雲が掛かり、こちらに向かって流れてくる。登り始めて40分で高座山の山頂である。山頂には、富士山に向いて釣鐘と山梨100名山のポールである。山登りを始めて、ここで初めて四等三角点の標識がある事を知った。360°の展望で三つ峠や、先に登った十二岳・白く化粧した南アルプスそして一部雲の中の富士山や、愛鷹山や山中湖当までも確認できた。コースは、岩が多くなるも緩やかなコースで、25分程で高圧送電線の鉄塔を過ぎ、更に20分程で、パラグライダーで有名な大ざ首峠である。ロープのある急な登りを進むと、小さな白い花の富士桜も加わり、写真を撮ったりした事もあり、杓子山山頂まで50分を要した。高座山同様に360°の展望で、富士山を中央に、奥多摩の山々から山中湖・石割山までも確認できた。子の神のT字路まで小さなピークを越え40分だ。嬉しい事に薄いピンクのアケボノスミレ・エイザンスミレ・黄色のキスミレや白いケマルバスミレも確認する事が出来た。ここからは緩やかな10分程の登りで、三等三角点のある鹿留山の山頂である。大きな水樋の下の富士桜も見事だが、山頂の周囲は木々に囲まれ、倉見山との間に西桂の街並みが見える程度である。子の神のT字路まで戻り、ロープを頼りに岩尾根を立ノ塚峠に向かう。岩に手を置いた先にピンクのイカリソウが数輪の花を付けていてくれた。30分程下るとなだらかなコースとなり、新芽を出したばかりの唐松の下にはクサボケの赤い花が元気だ。更に30分で地蔵様が祀られた立ノ塚峠だ。ここからは、杉・檜等の針葉樹林の林道の下山である。25分程で歩道も付いた立派な舗装道路だ。養鶏場から右に折れ、浅間や八幡神社を横目で見ながら忍野中学へ、そして先程の鎌倉往還を登り約1時間で鳥居地峠の車に戻れた。色々のスミレそして花々が途中絶える事もなかった、丁度6時間(28000歩)の春の山旅でした。(H29. 5. 11)

高座山の右下文字



杓子山から富士山と桜



鹿留山山頂

